

岸政彦 (きし まさひこ)

—◇—
「沖縄的なもの」

沖繩的なものはほんとうにあり、それを自身が背負わないと、沖繩という場所に立ち向かえない気がする。それはもつと世俗的なものと思つてゐる。

◆ 沖縄の匂い

「つぼくなつてきた」沖縄の風景だが、地方で変わらずに存在する沖縄がある。

・「沖縄方言だと思われていない沖縄方言」のように、いつもそこにあつて、誰もが知っているけど、誰も気づかない、そういう沖縄がいつも存在していることに私は安心する。

沖縄を実感させる「空気」、それはいつもそこにあるが、気づかないものなのだ。

筆者の考えの中で最も大切と思われることを、指定された言葉を使って、百字程度の文章にまとめてみよう。

〔指定語——沖縄・文化・社会学者〕

《指定語——沖繩・文化・社会学者》

次の中で興味を持った事項について、図書館の書籍やインターネットなどを使って調べてみよう。

・ 沖縄の文化をナイチャーが論じた書籍にはどのようなものがあるか。

・ 沖縄の気候は、どのようなものか。

・沖縄の研究者には、どのような人がいたか。